

大分短期大学

ニュースレター

令和7年11月25日発行

〒870-8658

大分市千代町3-3-8

TEL. 097-535-0201(代)

FAX. 097-540-6509



JUNIOR COLLEGE
ACCREDITED
2023

本学は、令和5年度一財
短期大学基準協会による
第三者評価の結果、適格と
認定されました。

URL <https://www.oitatandai.ac.jp>

e-mail ojc@oitatandai.ac.jp

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆ 12月号のトピックス ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆
・Welcome Garden2025 植物縁の開催 ・特別講義の実施 ・大分市歩行者天国での園芸療法ブース出展
・早稲田大学社会科学部における講義 ・今後の予定

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆ *Welcome Garden2025 植物縁～人と緑の縁結び～の開催* ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

令和7年11月8、9日（土、日）に、Welcome Garden2025 植物縁～人と緑の縁結び～をテーマとした園芸療法・園芸福祉の概念を主に取り扱った“植物”をキーワードに人と人がつながることを目的としたイベントをパークプレイス大分にて開催しました。本イベントは、今回で6回目の開催となり、幅広いテーマを扱うのが特徴です。このイベントは2018年より早稲田大学の社会科学部との連携事業により始まりました。

当日は、本学の園芸療法ゼミナールを中心とした本学学生に加え、外部のボランティアメンバー（県内の高校生（大分東高校、大分南高校、大分三重総合高校、楊志館高校、きらら国際高校、精華学園高校）と、IVY 総合技術学院の専門学校生、本学のOB、立命館アジア太平洋大学のPOSPOSサークルのメンバー等、多くの学校からのご参加をいただきました。参加メンバーには事前の打ち合わせ会議も行い、“園芸療法”に関する学びと運営上の役割について共有する時間もとって理解の促進を図りました。また連携先の企業や団体からの協力もあって、体験および展示コーナーを合わせて21（のべ）ブースを出展しました。学生らにとっては外部機関との連携事業により多くの学びを得る機会となりました。結果、各ブースへの立ち寄り者数は3174名と大変多くの方々を知ってもらった場となりました。これをきっかけにより多くの方々に園芸療法・福祉について理解してもらえたらと願います。準備・運営に頑張ってくれた皆さん、本当にお疲れさまでした！



全体ミーティングの様子



グリーンケアツリー作りの様子



「草地環境・畜産」ブースの様子
（大分県酪農業協同組合様協力）



生花・造園・園芸の作品展示（生花部門）



植物遊びコーナー（ミニゲーム）



園芸療法・園芸福祉の作品展示（クラフト部門）



「介護美容」ブースのハンド・ネイルケア
「コルディアール農園」の水耕栽培体験の様子



「くだものかふえ」ブース
試飲イベントの様子



ボランティアメンバーとの集合写真
（2日目の終了時）

* 特別講義の実施 *

令和7年11月22日（土）、本学教員の①摺崎と②鍵和田による1年生を対象にした特別講義を実施しました。

①摺崎による講義内容は、「これからの日本の農業について」と題し、オンデマンド形式でビデオ聴講をした上で、課題レポートに取り組みました。課題に対して、学生からはこれからの農業と自分の将来を照らし合わせて考えを述べており、感心させられました。

②鍵和田による講義では、「街路樹の現状と問題点から見た樹木医および造園の必要性」と題し、実施されました。受講した学生からは、『景観や街並みづくりのために樹木を植え、経過すると管理の問題が出てすごく大変だと感じた』『普段見ている風景は、管理されているからキレイなんだと今さらだが気付くことができた』等の感想がありました。通常の講義に加え、一つのテーマに即した特別講義は、学生にとっては新たな学びの機会となったようです。次回の特別講義は12月13日（土）に、「1限目：農福連携について（小石）、2限目：2050年までの経済社会の構造変化と政策課題～社会情勢の変化と農業～について（勝本）」をテーマに行う予定です。



～鍵和田による講義の風景～

* 大分市歩行者天国での園芸療法ブースの出展 *

令和7年11月1日（土）に大分市歩行者天国が開催され、本学から園芸療法に関するブースを出展しました。同年5月にも開催された本イベントですが、スポーツ・オブ・ハート大分より出展依頼があり、学生とともに活動を行いました。内容として多肉植物の寄せ植え体験、食育に関するクイズに加え、学生の卒業研究のためのアンケートも実施しました。ボランティアメンバーとして本学学生は、園芸療法に興味のある県内の高校生（2年生）が参加してくれました。雨予報で心配しましたが開催時間に合わせて晴れ模様となりました。12時から15時までの3時間という短い時間で、立ち寄り者数（体験者含む）は350名超えの盛況なイベントとなりました。参加された学生らは、自分に与えられた役割に一生懸命に取り組むだけでなく、時にはカバーし合う様子も見られ、すごく成長を感じられた時間となりました。皆さん、ご協力ありがとうございました。



～大分市歩行者天国内における園芸療法ブースでの様子～

* 早稲田大学社会科学部における講義について *

令和7年11月17日（月）、早稲田大学社会科学部が開講する授業に招聘（専門的な技能や知識を持つ人を特定の目的のために招くこと）され、大分刑務所の処遇改善部の職員2名と本学教員の小石（本学教員兼早稲田大学招聘研究員）の3名で講義を行いました。刑法を学ぶ早稲田大学の学生に加え、慶応義塾大学の大学院生なども合流して総勢300名を超える聴衆者がいる中で、園芸療法・園芸福祉に関する社会的アプローチについてお話をさせてもらいました。終了後は、社会問題に切り込むような鋭い質問も出ました。受講後の感想シートからは、『園芸療法・園芸福祉に関する概念は、初めて知る貴重な機会となった』『植物を活用したアプローチは画期的だった』など、普段聞くことのない分野の話題に興味関心を寄せる声が多数聞かれました。講義を終え、園芸療法・園芸福祉概念の新たな領域の開拓につながる貴重な機会になったと感じました（文責：小石）。



～招聘講義の風景・大隈重信記念講堂の前での1枚～

* 今後の予定 *

○12月22日（月）

大分短期大学 学校推薦型選抜（2期）・総合型選抜（2期）・社会人選抜（2期）
（※在学生は講義があります）

○12月23日～26日
（火～金）

冬期対策講座

（公務員教養・英語・化学・数的推理・資料解釈、等を実施予定）

○12月23日～1月4日
（火～日）

冬期休業

（年末年始休業12月29日～1月3日（平松学園全体が休業予定））

○1月5日（月）

後期再開